



みやぎ元気人「宮城車いすマラソンクラブ」

特集 **宮城県緊急経済産業再生戦略プラン**

探訪ねる 水島 ⑩
 清くて深い「水の郷」七ヶ宿
 七ヶ宿町・白石市(鏡清水から白石川)

発行 宮城県総務部広報課 〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目5番1号 (022)221-2222 (内線2222) URL http://www.pref.miyagi.jp/kohou/ 印刷 仙台印刷工業団地協同組合

第14回 **子ども県政だより**
 いろんなぎもんをナンダロウくんといテナちゃんが楽しく解決!

こけしにも種類があるって知ってた?

ナンダロウくん: このこけしって、ちょっとずつ違っているね。
 いテナちゃん: どうして違っているのかな?

宮城県のこけしには、おもに4つの系統があります

- 山形作並系(仙台市)**
 からだには、カニに似た菊もようが描かれています。
- 鳴子系(鳴子町)**
 からだと頭がほぼ同じ太さです。体には大きな菊もようが描かれています。頭を回すとキュッキュツとなります。
- 弥治郎系(白石市)**
 かみけの毛がベレー帽をかぶったような太い線で描かれています。また、きもの帯も直線で描かれています。
- 遠刈田系(蔵王町)**
 頭には、赤いかみかざりが描かれています。二重の目が特徴です。

肘折こけし(仙台市)を入れて5系統という場合もあります。

こけしって、むかしは子どものおもちゃだったんだって。
 同じこけしでも、作られる場所がずいぶん違いがあるんだね。

行ってみよう！ 見よう！

11月は伝統的工芸品月間です。宮城の伝統工芸品であるこけしは、子どものおもちゃから温泉のおみやげ品として発展してきました。県内には、こけしの絵づけを体験できる施設があります。世界に一つしかないこけしを作ってみましょう。

みやぎ蔵王こけし館(蔵王町)
 ☎ 0224(34)2385
 弥治郎こけし村(白石市)
 ☎ 0224(26)3993
 日本こけし館(鳴子町)
 ☎ 0229(83)3600

取材協力: 弥治郎こけし村

宮城県緊急経済産業再生戦略

速効性ある雇用創出と新成長産業の創出を目指して

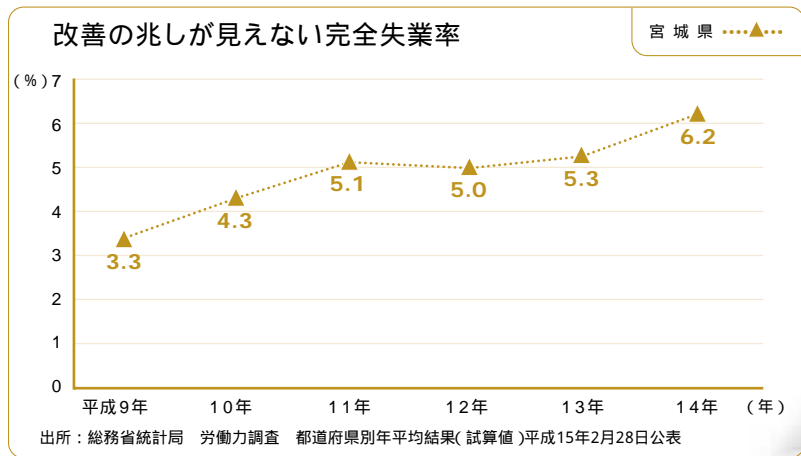
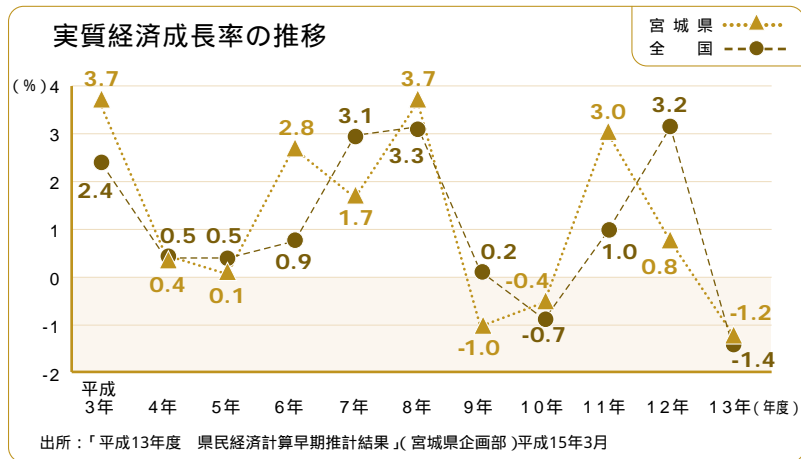
九月五日、県では「宮城県緊急経済産業再生戦略プラン」を策定しました。これは、宮城県独自の経済再生プログラムです。今月はこのプランの概要を「紹介します。

低迷する地域経済

宮城県の経済状況は、雇用環境、企業活動とも厳しい状況が続いており、依然として低迷した状態にあります。

この低迷は、従来の景気循環による一時的な落ち込みではなく、構造的な要因が背景にあります。

これまで、地方の多くは国の補助制度や地方交付税制度に大きく依存してきました。しかし、厳しい財政状況の中で中央依存型の経済構造は大きく揺らぎつつあります。一方で「グローバルイノベーション」の進展により、製造業を中心に地域産業は厳しい競争にさらされています。これらの環境変化への対応の遅れが、今回の地域経済低迷の大きな要因となっています。

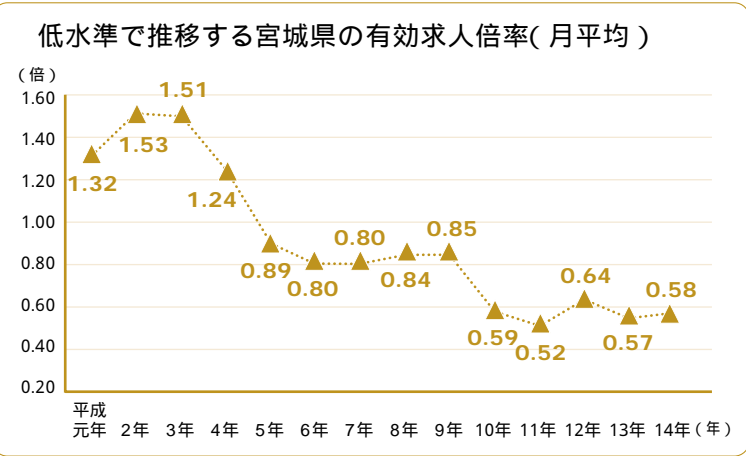


地域経済の立て直しのために

「このような状況から抜け出すためには、環境の変化を的確にとらえ、地域自らが富を生み出す、自立型の経済構造へと転換していくことが必要です。

このことから、県では、地域経済の立て直しと新たな産業の創出に向けて、戦略性の高い産業経済政策を推進する「宮城県緊急経済産業再生戦略プラン」を策定しました。

この再生戦略プランは、今年度から平成十七年度まで短期間で進められます。



再生戦略プランの内容

再生戦略プランは、雇用対策と自立型の経済構造への転換を図るための産業再生対策に大きく分けられます。雇用対策としては、雇用創出に速効性のある「雇用の緊急確保」「企業誘致の

雇用対策

雇用の緊急確保
県独自の緊急雇用事業を集中的に実施します。また、特に厳しい雇用環境にある若年者のために「ワンストップ就職支援センター」を設置するほか、中高年世代の離職者の再チャレンジを支援し、職場体験講習を実施します。

企業誘致の拡大

製造業、コトルセンター、環境・リサイクル産業を中心に、三年間限定の大胆な優遇制度の創設や拡充を図ります。また、たくさんさんの企業が立地しやすいように構造改革特区の積極的な活用や開発規制の弾力的運用、立地に係る手続きの迅速化も進めていきます。

身近な社会資本の整備

近い将来、高い確率で大きな地震の発生が予測されています。このため、緊急輸送路の確保や津波対策、学校など公共施設の耐震化を進めます。また、新たな感染症対策のための関連施設の整備を進めます。

生活者の支援

利用希望者が増加している高齢者介護施設や保育所等の福祉施設の整備を進めます。また、身近な地域において年齢や障害の程度、種別にとらわれない新しいタイプの多機能型地域ケアホームモデル事業を全国に先駆けて実施し、福祉の産業化を推進します。

「緊急経済産業再生戦略」

県は、9月初めに「宮城県緊急経済産業再生戦略プラン」をまとめました。地域経済は大変な状況にあります。国がなんとかしてくれることを期待して、県として何もしていないで眺めているというわけにはいきません。

宮城県の経済と産業を再生させるための戦略を県独自に立てて、そのためのプランを実行しなければなりません。「拳県一致体制」で取り組みますが、まずは、県が中心的な役割を果たさなければならないと考えました。緊急にやるということで、年度途中ですが、すぐに着手します。そして、平成15年度、16年度、17年度の2年半という期限内のプランとしました。なんとしても、この期間内に結果を出したいという思いがあります。

さまざまな事業を実施しますが、柱は雇用の確保と産業の再生です。数値目標として、雇用が14,590人、誘致企業を60社掲げました。事業費は、3年で521億円です。そのための県の支出は303億円になります。

県は財政危機という難問を抱えています。その中で、経済産業再生戦略を実行に移すということになります。「二兎を追う作戦」になります。あらゆる財源を総動員しても、どうしても足りない部分を県職員の給料のカットで賄うことにしたのは、こういった事情からです。

限られた時間の中で、県庁組織一丸となってこの戦略プランを作りました。そのことには、私としては職員に心から感謝をしています。そして、誇りにも思います。あとは、このプランを実効性のあるように、どうやって実施していくかです。この我慢の時期を経て、宮城県の経済と産業の再生を果したいと心から願っています。

宮城県知事 浅野史郎



就職説明会にのぞむ高校生



宮城県緊急経済産業再生戦略会議

産業再生対策



中小企業の再生

優れた技術力や商品開発力などの経営資源を持ちながらも、資金調達に苦慮している競争力のある中小企業に対して、企業再生・成長支援のためのさまざまな金融制度を整備します。

起業の支援

(新成長産業の創出)

(1) 新事業進出企業への総合支援

企業の新事業進出のため計画の策定から、販路開拓支援、特許取得支援、技術移転支援、貸研究施設の設定など、総合的な支援を行う体制を整備します。



クリーンルーム(県産業技術総合センター内)

(2) アグリビジネス分野

県産農産物の生産から流通まで、また、事業計画の策定から経営指導まで総合的に支援する機関として、新たにアグリビジネス推進組織を設けます。さらに、農業への企業参入を促進し、大規模な野菜・花き生産工場が食関連産業等と連携した新たなビジネス展開ができるよう支援します。



大規模なマトの養液栽培

(3) 水産業分野

みやぎの豊富な水産資源の販路拡大と、ブランド化のためのアンテナショップの展開や首都圏への情報発信などを推進します。

(4) 環境・リサイクル分野

環境・リサイクル産業の立地や集積を促すため、「みやぎエコファクトリー」への企業立地を促進する優遇制度を設けます。また、産業廃棄物の排出抑制技術やリサイクル技術の開発、あるいは未利用資源の有効活用を図る企業を支援します。

(5) IT関連産業分野

IT分野において、今後世界標準となる可能性がある技術を生産・学・官が連携して開発していきます。また、新技術を基にした地元IT企業による新商品・新サービスの開発や技術力向上のための人材育成に対して支援します。

(6) 観光分野

みやぎの豊富な温泉資源を活用し、健康志向の高まりに応じた観光サイ

ブスを提供します。また、中国をはじめとしたアジアからの観光客が増加するように宮城の良さをPRする事業を実施します。

(7) 住宅産業分野

地域に根ざした高度な建築技術をもつ職人の育成や、安くて安全な住宅の提供、リフォーム産業の振興など、宮城ならではの住宅産業の振興を図ります。また、一般木造住宅の耐震診断等を支援します。

再生へ向けて

今後、再生戦略プランが実効性のあるものとなるよう、産・学・官が拳一致で取り組み、地域経済を一刻も早く成長の軌道に乗せていきたいと考えています。県民の皆さんのご協力をお願いします。

なお、再生戦略プランの詳しい内容についてはホームページや県政情報センター、気仙沼地方振興センターおよび各地方振興事務所をご覧ください。

お問い合わせ

経済産業再生戦略室
☎022(211)2717
FAX022(211)2719
eメール sangyoss@pref.miyagi.jp
http://www.pref.miyagi.jp/industry_gad/pro/hp/

みやぎ発「スギ合板」誕生

木材生産を目的とする人工林は、県内の森林面積のおよそ半分を占めます。人工林では、良質の木材を生産するために、密集して苗を植え、成長に合わせて間伐を繰り返します。人工林を良好に育て、森の恵みを維持するためにも間伐は必要な作業です。また、そこから生産される木材(間伐材)も大切な資源になります。

宮城北部流域林業活性化センターと東北合板工業組合では、特に多いスギの間伐材を有効利用しようと「スギ合板」の生産に取り組み、県もそれを支援してきました。

通常、合板は海外から輸入された丸太を原料としているため、国内の木材で作られたこの「スギ合板」は業界初の取り組みです。この合板は、従来のものと比べ、同

じ強度を保っても重さが三分の一ほど軽く、大工さんたちにも好評です。また、間伐材を使用していることで「宮城県廃棄物再生資源利用製品」の認定も受けています。

スギ合板の利用が増えれば原料となる間伐材の消費も増え、県内の森林・林業の活性化にも大きく貢献することが期待されています。

また、県庁18階「みやぎ広報展示室」には、この「スギ合板」で作られた看板を設置しています。

お問い合わせ

林業振興課 ☎022(211)2912
http://www.pref.miyagi.jp/ringyo-sk/



密集して植えられている人工林

伐採作業

機械にかけて合板に

合板は住宅資材になります

ローマ県との姉妹交流
「コンペ di Vino Romano」グランプリ決定!

県では、イタリア・ローマ県との交流を進めるため、「コンペ di Vino Romano」(ローマのワインコンペ)を行いました。これは、宮城県が誇る質の高い日本酒と、イタリア白ワイン産地として名高いローマ県産ワインをお互いにもっと知ってもらいたい、そんな思いから生まれた事業です。

このコンペでは、県内の学生を対象に、ローマ県産ワインのボトルとラベルをデザインし、どうしたらこのワインを宮城県に、そして、日本に売り込むことができるかを含めて総合的に提案してもらいました。また、ローマ県の学生は、宮城の日本酒について同様のコンテストを行うことになっています。

コンペには、予想をはるかに上回る100点の応募がありました。そして、一次審査を通過した5作品の中からグランプリを決定しました。今後、入賞作品を生かした商品化について検討していきます。

また、県では、今後も幅広いローマ県との交流を目指し、県民の皆さんが参加できる機会をたくさん提供していき

たいと考えています。そして、両県の交流を通して、宮城がイタリアの情報発信拠点のひとつとなることを目指しています。



最優秀作品(左)と受賞者の宮城大学「Mitsuhashi第1班」の皆さん(右)

お問い合わせ

国際交流課 ☎022(211)2277
http://www.pref.miyagi.jp/kokusai/

宮城県緊急経済産業再生プラン

	再生戦略テーマ	プロジェクト名	総事業費	県予算	雇用創出人数
雇用対策	雇用の緊急確保	雇用創造「速」プラン	14億円	12億円	3600人
		学卒者・障害者の雇用促進	3億円	2億円	300人
		少人数学級編制による雇用増	12億円	12億円	300人
	企業誘致の拡大	拳一致の魅力ある企業誘致環境整備	47億円	44億円	4100人
	身近な社会資本の整備	耐震化を中心とした社会資本整備	105億円	99億円	1000人
産業再生対策	生活者の支援	福祉サービスの拡充と生活環境の整備	236億円	74億円	3700人
	中小企業の再生	企業再生・成長支援のための金融制度の創設	14億円	14億円	-
		中小企業再生支援機能の大幅拡充	4億円	4億円	-
	起業の支援 (新成長産業の創出)	新事業進出総合支援プロジェクト	5億円	4億円	700人
		新世代アグリビジネス創出プロジェクト	30億円	15億円	200人
		水産資源ブランド化推進プロジェクト	2億円	1億円	20人
		環境・リサイクル産業育成プロジェクト	9億円	4億円	300人
		未来型IT技術開発産学官連携プロジェクト	3億円	1億円	50人
		みやぎウエルカム5000万人プロジェクト	2億円	1億円	20人
		みやぎの住宅産業振興プロジェクト	25億円	11億円	300人
	小計	511億円	298億円	14,590人	
	(市町村連携事業)	10億円	5億円	-	
	総計	521億円	303億円	14,590人	

総事業費および県予算額は現時点における見込みであり、今後の状況の変化や事業の進展に伴って、変動が生じます。

食の安全安心に向けて 行動開始



「みやぎ食の安全安心アクションプラン」を策定しました



地方懇談会

県では、立て続けに起こった「食」をめぐる問題を受けて、今年三月に「みやぎ食の安全安心基本方針」を策定しました。この基本方針では、生産者、事業者、行政の責務および消費者の役割と食の安全安心を確保する体制づくりを明らかにしました。そして九月には、基本方針に基づき、具体的な施策をまとめた「みやぎ食の安全安心アクションプラン」を策定しました。

具体的な施策へ反映させていきます。問題発生時には、迅速に情報の収集や提供を行います。また、食の安全安心に関する相談窓口を設けます。

食の安全安心を 皆さんの手で

食の安全安心を確保するためには、行政が監視指導を行うことはもちろん、生産者や事業者が適切な取り組みをしたり、

信頼回復のために

「みやぎ食の安全安心アクションプラン」は、食の安全安心を確保し、消費者の「食」への信頼を回復するために今年九月に策定されました。

県では、食の安全安心の確保は、行政による監視・指導を強化することだけでなく、実現できるものではないと考えています。生産者・事業者自身が消費者の視点に立ち、取り組みを行い、消費者がそれを手放くするなかで、それぞれの責務や役割を果たすことが必要です。

その中で、「アクションプラン」では、生産者、事業者、消費者の皆さんと連携しながら、平成十五年度から十七年度までの三年間に県が取り組む施策をまとめました。これに基づき、重点的推進事項である四つの柱を中心にさまざまな施策を実施していきます。

「みやぎ食の安全安心 アクションプラン」の 4つの柱

1 安全で安心できる食品の
生産供給体制の確立

安全で安心できる食品の生産供給体制の確立に向けて、主な農林畜水産物のトレーサビリティ・システム(*)を整備したり、高度な衛生管理システムの導入を進

めたりします。

(*)「トレーサビリティ・システム」：食品がどこでどのように作られた、どんな経路で流通したかが分かるシステム。食品に付いているコード番号を店頭の商品や自宅のパソコンなどに入力することで情報を見ることが出来ます。

2 生産から消費までの一貫した
監視指導・検査の強化

食品の安全を確保するため、現場への立ち入り検査や、食品の検査などを強化するとともに、監視指導・検査結果の分かりやすい公表に努めます。

3 生産から消費までの情報の
共有と相互理解の促進

食に関する総合的なホームページを開発するなど、消費者の視点に立った情報の提供に努めます。また、講習会などの開催を通じて、正しい知識の普及啓発にも努めます。

このほか、現場見学会や地方懇談会を開催し、互いに顔の見える交流を通して、消費者と生産者・事業者の相互理解を促進します。

4 食の安全安心に関する
体制整備と関係機関等との
連携強化

消費者、生産者、事業者との意見交換を通じて、県民の皆さんの意向を把握し、

心のある皆さんに、消費者モニターとして登録していただきます。

モニターの皆さんからは、県に対し、食の安全安心に関する情報を提供していただきます。また、県からは、モニターの皆さんにメールマガジン等により食の安全安心情報を提供します。なお、消費者モニターの募集は平成十六年度から行う予定です。

「他にも、食の安全安心に関して積極的な取り組みを行った方を表彰する表彰制度」、安全安心基準等をインターネットなどを通じて掲載する「食の安全安心掲示板」や、食の安全安心に関するシンポジウム・各種講習会・県民大会」を開催します。

「(仮称)みやぎ食の安全安心
基本条例(案)」への意見募集

県では、「(仮称)みやぎ食の安全安心基本条例」を制定する予定です。この条例案に対して、県民の皆さんからご意見を十一月十七日(月)まで募集しています。

詳しくは、食の安全安心対策室のホームページをご覧ください。なお、資料をご希望の方は、お電話でご請求ください。

お問い合わせ

食の安全安心対策室
022(221)2500-1
http://www.pref.miyagi.jp/syoku-anzen/

安全と安心をお届けします

宮城県産かきのトレーサビリティ・システムが開始されました

流通経路が分かるかきのトレーサビリティ・システムが、9月から始まりました。このシステムを利用するには、宮城県漁業協同組合連合会のホームページに接続します。かきのパックに記載された「バック番号」と「消費期限日」を入力すると、生産者名、水揚げ地域のほか、生かきの生産や加工の履歴を確認することができます。



http://www.miyaginokaki.jp/
宮城県漁業協同組合連合会 ☎022(264)6850

総参加運動の中心は 2つの制度

この運動は、みやぎ食の安全安心宣言制度と「みやぎ食の安全安心消費者モニター制度」を中心に展開します。

「みやぎ食の安全安心宣言制度」

この制度では、生産者、事業者が自ら安全安心基準を定め、その基準を公開することにより、安全安心宣言を行います。この安全安心宣言は、消費者が安全で安心できる食品等を選択する目安になります。県では、安全安心基準ガイドラインを策定し、生産者、事業者が基準を定めやすいよう支援します。また、基準を設定している事業者名などを広告し、消費者が安心して食品を購入できるように支援します。

「みやぎ食の安全安心消費者モニター制度」

このモニター制度は、食の安全安心に関

清くて深い 「水の郷」七ヶ宿

七ヶ宿街道を西へ西へ行くと、「鏡清水」にたどり着きます。この清水は、昔から旅人の咽を潤してきただけではなく、県南広域を潤す白石川の源流でもあります。

たしかに七ヶ宿は水が豊かです。

でも、住み慣れた家をダム湖の湖底に残して

この土地を離れざるを得なかった人々もいましたね。

こうして人と水が深く深く関わってきた地域だからこそ

「水の郷百選」にふさわしいのです。

有り難きかな、七ヶ宿の水は。



ガマズミ



1



七ヶ宿ダムへは東北自動車道白石ICで下車、国道4号を南へ10分行き、国道113号を西へ40分。



1



2



3

1「七ヶ宿ダム」
七ヶ宿ダムは、仙南・仙塩の七市十町約百二十万人の水がめ。このダムが建設されることで、七ヶ宿街道の二部と三つの集落(追見、原、渡瀬)の百五十八戸の家々が湖底に沈んだことも忘れてはならない。七ヶ宿公園内には「町の歴史と「水」をテーマにした歴史民俗資料館、水と歴史の館」がある。

2「白石川の源流「鏡清水」」
参勤交代の折、あるお姫さまが鏡のかわりに姿を映したという由来のある清水。山形県境の金山峠にあり、今も鏡のように澄んだ水が絶えまなくわき出ている。飲用には適していません。

3「傾城築けいせいもり・右と山伏築やまがしもり」
昔修行中の山伏と「傾城の美女」といわれた京都祇園の芸妓がこの地で身を投げたこと伝説する山、白石川と南蔵王から流れ込む横川がこのあたりから本になって、この悲恋を裏付けるかのようには仲良く流れる。

4「材木沓」
七ヶ宿ダム直下にある高さ約百メートル幅約百メートルの材木を並べたような自然の製造物。正式には、石炭安山岩の柱状節理といつもので昭和九年に国の天然記念物に指定された。紅葉に彩られた材木岩とつとつと流れるせせらぎはこの時期ならではのベストマッチ。

(注)「水の郷百選」
地域固有の水をよめる歴史・文化や優れた水環境の維持保全に努め、水と人との密接なつながりを形成し、水を活かしたまちづくりに優れた成果をあげている全国百七地域(平成八年三月国土交通省選定)



お気に入りの「みやぎ蔵王三十六景」を教えてください！

「蔵王三十六景」を「存じですか」これは、江戸後期の浮世絵師葛飾北斎が富士山をテーマに取り組んだ版画です。県では「これに」を心得て「みやぎ蔵王」を題材に「三十六景」を選定し、観光や地域づくりに役立てていくという取り組みを行っており、現在、その場所を県民の皆さんから募集中です。



大河原町の「一目千本桜」を背景にした蔵王や、川崎町の「釜房湖に映る蔵王」など、よく知られた場所のほか、仙南にはまだまだ知られていない風景がたくさんあります。

ぜひ、お薦めのみやぎ蔵王の景色を教えてください。募集の対象となるのは、仙南二市七町内から「みやぎ蔵王」を望める素晴らしいスポット。締め切りは十一月三十日(日)です。住所、氏名、年齢、電話、推薦地、場所の説明を明記し、推薦地からの写真を一枚添付して郵送してください。応募用紙は、仙南各市町役場等で配布しています。また、県ホームページからも応募できます。

〒022453311(内線406)
http://www.pref.miyagi.jp/oksgsin/



東北みやぎ 東・西・南・北



ヨシで地域活性化 ヨシ紙手漉き講習会

北上川の河口に位置する北上町は、良質なヨシの産地として有名です。広大なヨシ原は平成八年度に「日本の首風景百選」にも選定され、町のシンボリックな存在になっています。

北上町では「ヨシ」を使って地域を活性化しようとする、県石巻地域農業改良普及センターの支援を受けて産・官と地域の皆さんが協力して、北上川ヨシ原活用推進協議会」を設立しました。



初めての紙漉きにドキドキ

その一環として地元にある資源を地元の子どもたちにも再認識してもらおうと、北上町立橋浦小学校

で「ヨシ紙の手漉き講習会」が行われました。橋浦小学校では、総合的な学習の時間を活用して、身近な資源であるヨシについての学習を進めてきましたが、紙の手漉きは「この日が初めてです。当日は橋浦小の四年生十四人が紙作り・染色・メイスターの高橋誠子さんから指導を受けて「ヨシ」の茎や葉を使った紙の手漉きに挑戦しました。参加した児童は、いろいろなもので紙が作れることが分かりました。今日作った紙はハガキにして出します」と話してくれました。



推進協議会で試作したサンプル

推進協議会では、将来はヨシを使った紙製品を地域の特産品に育てたいと、ヨシ紙の商品化を検討しています。

北上町産業振興課
0222(67)2116



仙南地域 白石市



白石高技専でスキルアップ
～冷暖房完備の会場お貸します～
白石高等技術専門学校は、地域に開かれた職業能力開発の促進を目的の一つとして、平成13年4月に自然豊かな白石市白川地区に、新しく開校した公共の訓練施設です。
「社員の能力開発を図るための講習会を実施したいが、適当な会場がなかなか見つからない」と悩んでいる事業主等の皆さんに、格安利用料で施設の一部をお貸します。駐車場もありますので、ぜひご利用ください。
貸出施設 = 研修室(60人収容) 会議室(20人収容) 実習室(360㎡三相電源有)
宮城県立白石高等技術専門学校
0224(35)1511
http://www.shiroishi.ac.jp

仙台地域 松島町



晩秋の松島で一句
～松島芭蕉祭・全国俳句大会～
松島町で、松尾芭蕉をしのび「松島芭蕉祭」および「全国俳句大会」が開催されます。瑞巖寺本堂で芭蕉の供養を行った後、松島海岸を散策しながら俳句を詠み、詠んだ句は午後の俳句大会へ応募できます。毎年、全国から2千句を超える応募があり、入選作品は屏風に飾られ観瀾亭松島博物館に永久保存されます。紅葉も美しい晩秋の松島で、一句いかがですか。
日時 = 11月9日(日) 午前10時～午後9時(受付開始/午前9時～)
場所 = 瑞巖寺本堂・大書院
当日会費(投句料) = 1,000円
松島町産業観光課
022(354)5708

大崎地域 岩出山町



第18回岩出山
バルーンフェスティバル
「岩出山バルーンフェスティバル」は、安全な飛行技術の向上とスカイスポーツの普及を目指して、毎年開催されています。今年も日本全国から熱気球愛好家が集い、色鮮やかに装飾されたバルーンが早朝の澄んだ空を舞います。
競技には約30機のバルーンが参加し、微妙な天候の変化に対応しながら、いかに正確な飛行ができるかを競います。また、係留気球の体験試乗(毎日先着100人)では、実際に気球に乗り空高くから晩秋の美しい眺めを満喫できます。
日時 = 11月22日(土)～24日(月)
(競技開始は、毎日午前6時30分)
場所 = 江合川あつたが河川公園
岩出山町産業振興課
0229(72)1211

栗原地域 栗原郡各町村



地場産品で「おもてなし」
「くりはら」を皆様にお届けします
とりたて、もぎたて、つくりたての栗原・大崎地域の農産加工品などを展示即売する「くりはら・おおさぎ」もってけ「市」(主催:栗原地域地場産品等直売研究会)が仙台市青葉区の勾当台公園市民広場で開催されます。
栗原地域からは、お米、リンゴ、秋野菜、自然薯、コンニャクなどの特産品を数多く取りそろえて皆さんをおもてなしします。ぜひお立ち寄り下さい。
日時 = 11月7日(金) 午前10時～午後3時30分、8日(土) 午前10時～午後3時
場所 = 勾当台公園市民広場
築館地方農事務所
0228(22)2122
http://www.pref.miyagi.jp/tk-tihouken/

登米地域 迫町



みやぎ県民大学「宮城大学開放講座」
～情報技術による社会デザイン～
宮城大学では、地域社会の生涯学習に積極的に貢献したいと考えています。今回は、最新の情報技術と私たちの生活との関わりという観点から「情報技術による社会デザイン」を主なテーマに、開放講座を企画しました。
講義は、「宇宙の「揺らぎ」と情報 宇宙の誕生からE.T.探査まで」と「情報教育のあり方と今後のIT社会」の2つです。
情報技術に興味をお持ちの方のご参加をお待ちしています。
日時 = 11月15日(土) 午後1時～午後4時30分
場所 = 県迫合同庁舎
募集人員 = 各講義とも100人(両方への参加も可) 申込期日 = 11月10日(月)
宮城大学事務局
022(377)8212
E-mail: koukai@myu.ac.jp

石巻地域 石巻市



石巻市制70周年記念事業
カンタータ「大いなる故郷・石巻」公演
「大いなる故郷・石巻」は、石巻市制40周年を記念して誕生した石巻市の「音楽財産」です。このカンタータを未来に引き継いでいこうと市制70周年の今年、4回目の公演が行われます。今回の公演では、指揮者の岡崎光治氏、ソプラノ歌手の菅英三子氏らを迎え、約280人の大合唱団をはじめ、舞踊、オーケストラなど総勢400人によるステージが繰り広げられます。石巻の歴史を綴るカンタータをどうぞご覧下さい。
日時 = 11月16日(日) 午後2時開演
場所 = 石巻市民会館
カンタータ「大いなる故郷・石巻」公演実行委員会
0225(22)4689

気仙沼・本吉地域 唐桑町



第18回リアス牡蠣まつり唐桑
唐桑の秋の収穫祭「リアス牡蠣まつり唐桑」が今年も開催されます。炭火焼のカキやカキ鍋が振る舞われるほか、鮮力キをはじめとする生鮮魚介類・水産加工品・農産物の即売など、秋の味覚満載のお祭りです。また、郷土芸能披露やカキ殻積み上げ大会などのイベントも盛りだくさんです。身が肉厚でおいしいと評判の唐桑産カキをこの機会にぜひお召し上がりください。なお、鮮力キは売り切れが予想されますので、お早めにお求めください。
日時 = 11月16日(日) 午前9時～午後2時
場所 = 唐桑町町民運動場
唐桑町産業振興課
(財)唐桑町観光振興協会
0226(32)3130(内線435,436)
http://www.town.karakuwa.miyagi.jp/kanko/index.html

障害者向けIT講習会開催

【肢体不自由者向け】

日時 = 11月29日(土) ~ 30日(日)、午前10時 ~ 午後4時30分

会場 = 志波姫町エポカ21

定員 = 12人

【視覚障害者向け】

日時 = 第1回...11月27日(木)、12月4日(木)、
第2回...11月29日(土)、12月6日(土)、午前10時 ~ 午後4時

会場 = JC21教育センター(仙台市青葉区花京院1-3-1)

定員 = 各10人

締め切り = 11月12日(水)

申し込み、問い合わせ = みやぎ障害者ITサポートセンター ☎022(374)3111へ

☎県障害福祉課

☎022(211)2541

宮城いきいき学園生募集 (平成16年4月入学生)

対象 = 県内在住のおおむね60歳以上の継続して通学可能な方

場所 = ①仙南校: 岩沼市中央公民館

②大崎校: 大崎生涯学習センター

③石巻校: 矢本町コミュニティセンター

④気仙沼・本吉校: 気仙沼中央公民館

⑤登米・栗原校: 迫町中央公民館

募集人員 = 各校40人

学習日 = 平成16年4月から月2回、年間22回(2学年制)

募集期間 = 11月1日(土) ~ 12月26日(金)

入学金 = 5,000円

受講料 = 年間10,000円

申込先 = (財)宮城いきいき財団(申込書は市町村福祉担当課および教育委員会生涯学習担当課、県長寿社会政策課、宮城いきいき財団で配布)

☎宮城いきいき財団

☎022(219)1171

☎県長寿社会政策課

☎022(211)2536

伝統的工芸品産地見学会 参加者募集

伝統的工芸品の製作実演見学、製作体験を行います。

コース = ①埴焼(仙台市)11月20日(木)②宮城伝統こけし(蔵王町遠刈田)11月21日(金)

③雄勝硯(雄勝町)11月26日(水)④宮城伝統こけし(白石市弥治郎)11月27日(木)(①のみ現地集合・解散、その他は県庁集合・解散。昼食持参)

材料費 = ①3,000円(送料別)②700円③1,800円④600円

募集人数 = 各コース22人

申し込み = 11月10日(月)までに(必着)、往復はがきの往信面に希望コース、住所、氏名、年齢、電話番号を、返信面に申込者の住所、氏名(あて先)を記入し、県新産業振興課(〒980-8570 住所不要)へ(応募多数の場合抽選)

☎県新産業振興課

☎022(211)2721

青年海外協力隊・シニア海外ボランティア秋募集

開発途上国の発展を技術の分野で支援していただく①青年海外協力隊(20歳~39歳)②シニア海外ボランティア(40歳~69歳)を募集します。

申込期限 = 11月16日(日)(当日消印有効)

試験日 = 12月7日(日)

☎JICA東北支部

☎022(223)4772

☎県国際交流課

☎022(211)2277

在職者向け技術講習会

中小企業在職者、求職中の方も受講できます。

コース・対象 = ①LAN入門: Windows 98の基本操作ができ、LANについてこれから学びたい方

②Macintosh入門: Macintoshパソコンの操作や活用方法を学びたい方

期日 = ①②12月6日(土) ~ 7日(日)

場所 = 白石高等技術専門学校

受講料 = 無料(テキスト代別途)

申し込み = 11月14日(金)までに(当日消印有効) 往復はがき1コースにつき1通)に希望コース、住所、氏名、生年月日、電話番号、勤務先、受講を希望する理由を明記し、同校(〒989-1102 白石市白川津田字新寺前5-1)へ(応募多数の場合抽選)

☎白石高等技術専門学校

☎0224(35)1511

仙台高等技術専門学校 短期課程学生募集

科名 = ①パソコン事務科

②パソコン文書科

内容 = ①パソコン基礎操作

②ワード・エクセルの技能習得(MOUS試験ワード・エクセル一般取得)

場所 = ①仙台高等技術専門学校幸町校舎

②仙台高等技術専門学校

訓練期間 = ①平成16年1月8日(木) ~ 29日(木)

②1月20日(火) ~ 3月19日(金)

定員 = ①20人②10人

申込期間 = ①11月13日(木) ~ 12月5日(金)

②11月20日(木) ~ 12月12日(金)

面接試験 = ①12月12日(金)②12月19日(金)

授業料 = 無料(教科書等代別途)

受講申込先 = ①仙台高等技術専門学校(仙台市宮城野区田子1-4-1)

②同校および各公共職業安定所

☎仙台高等技術専門学校

☎022(258)1151

物品等競争入札 参加者登録申請受付

受付期間 = 11月17日(月) ~ 28日(金)(新規と平成13年1月1日登録業者の更新の受付)

受付場所 = 県出納局契約課、気仙沼地方振興センター、各地方県事務所(仙台を除く)

申請用紙 = ①新規...各受付場所にて随時配布。県のホームページからもダウンロードできます

②更新...受付期間前に送付

☎県出納局契約課

☎022(211)3333

http://www.pref.miyagi.jp/keiyaku/

障害者雇用促進企業 登録申請受付

県では、物品・役務の調達に当たり「障害者雇用促進企業」から優先して調達する制度を実施しています。物品調達等に係る競争入札参加業者としての登録が必要です。

受付期間 = 11月17日(月) ~ 28日(金)(新規と平成15年1月1日登録業者更新の受付)

受付場所 = 県出納局契約課

申請用紙 = 受付場所で随時配布。県のホームページからもダウンロードできます

☎県出納局契約課

☎022(211)3333

http://www.pref.miyagi.jp/keiyaku/

催し

宮城県消費生活センター 消費生活展

多くの商品やサービスがあふれている今日、安心な消費生活を送るための提案をトラブル防止の視点から試買テスト結果も交え、実物やパネルで展示します。併せて消費生活講座を開催します。

日時 = 11月26日(水) ~ 28日(金) 午前9時 ~ 午後6時(ただし、28日(金)は午後1時まで) 場所 = 東北電力グリーンプラザ・コミュニケーションルーム

☎県消費生活センター

☎022(261)5164

第5回移動講座(講演会)

通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする子どもたちを理解し、支援するための講演会を開催します。

日時 = 11月6日(木) 午後2時 ~ 午後3時40分 場所 = 塩竈市立第一小学校多目的ホール 対象 = どなたでも(無料)

テレビガイド

仙台放送 たきたて!みやぎDON

第3土曜日(毎月) 午後1時 ~ 1時25分 再放送/放送日の翌週火曜日 午前1時33分 ~ 午前1時58分

行政情報、県内各地の話題などホットで新鮮な情報を満載した、みやぎの今を伝える情報誌感覚の番組です。(文字スーパー付き)

ダテナビ100選 七ヶ浜の不思議 特集 たのしめますか?スポーツ旬のひと味 みず菜(古川)

宮城テレビ放送

みやぎ情報クルーズ ~ミュージン~

毎週木曜日 午後9時55分 ~ 9時58分

県からのお知らせを分かりやすく楽しくお伝えします。(文字スーパー付き)



申し込み = 県特殊教育センター ☎022(376)5432へ

青少年健全育成 みやぎ県民のつどい

11月は全国青少年健全育成強調月間です。青少年問題について一緒に考えてみませんか。

日時 = 11月4日(火) 午後1時 ~ 場所 = 仙台市青年文化センター 内容 = 青少年育成功労者表彰、少年の主張宮城県大会優秀者の発表など

記念講演 = 大人になれない子どもたち ~「メディア漬け」と子どもの危機~

講師 = 清川輝基氏(NHK放送文化研究所専門委員)

参加費 = 無料

☎青少年のための宮城県民会議(青少年課内) ☎022(211)2558

相談

女性医師による女性の健康相談

女性特有の病気や悩みに女性医師が相談に応じます。

宮城県女医会が現在、毎週土曜日に仙台市内で実施している「女性健康相談室」を県が協働して地域で展開していきます。相談は無料です。お気軽に申し込み

下さい。申し込み = ☎090(5840)1993へ。月 ~ 金曜日の午前9時 ~ 午後5時に受け付け。これ以外の時間や土・日曜日・不在の時は留守番電話に録音してください。折り返し相談日時等を連絡します

☎県健康対策課

☎022(211)2623

薬物関連専門相談事業

麻薬・覚せい剤・シンナー・大麻など、薬物乱用に関する面接相談を受け付けています。(無料・要予約)

診療も実施しています。(有料)

申し込み = 県各保健所・支所または県業務課 ☎022(211)2653、精神保健福祉センター ☎0229(23)1603へ

異常気象対策 経営生活相談所を設置

宮城県異常気象災害対策本部では、各地方対策会議(各産業振興事務所企画総務部、気仙沼振興センター企画振興班)に経営生活相談所を設置しています。

農業と中小企業の経営や資金活用、生活設計などの相談を受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

☎対策本部事務局(県産業経済総務課内) ☎022(211)2712

県の施設の催しガイド

カルチャークラブ

美術館、東北歴史博物館の小・中学生、高校生の常設展観覧料は無料です。

宮城県図書館 ☎022(377)8441

宮城県美術館 ☎022(221)2111

ビデオ上映会 内容 = アカデミー賞受賞映画「ベンハー」 日時 = 11月8日(土)、9日(日) 午後1時 ~ 場所 = シアター青柳館(申込不要)

DVD上映会 内容 = ドキュメンタリー「激動の昭和史」 日時 = 11月22日(土)、23日(日) 午後1時30分 ~ 場所 = シアター青柳館(申込不要)

【今日の休館日】 4日(火)、7日(金)、10日(月)、17日(月)、25日(火)

県民ロビーコンサート ☎022(211)2527

日時 = 11月26日(水) 午後0時15分 ~ 45分 場所 = 県庁1階県民ロビー 出演 = 中居めぐみ(サクソフォーン) 市川恵美(ピアノ) 曲目 = 宵待草、青葉城恋唄 ほか

東北歴史博物館 ☎022(368)0101

特別展「鮭 秋味を待つ人々」 今回の展覧会では、鮭の料理法の紹介や鮭の遊上を待つ漁師の姿など、日本社会における鮭の文化について紹介いたします。

開催期間 = 10月7日(火) ~ 11月24日(月) 場所 = 特別展示室 観覧料 = 個人: 一般・大学生700円、高校生500円、小・中学生300円

【今日の休館日】 月曜日(10日、17日)

ご案内

県実務例規集の発行

内容 = 県条例、規則等約230件掲載(平成15年3月末現在)
 体裁 = B6判、約2,000頁
 価格 = 6,000円(税込)
 申し込み = 直接、発行所「株ぎょうせい東北支社」☎022(222)6552へ
 問 県私学文書課
 ☎022(211)2267

秋季全国火災予防運動

期間 = 11月9日～15日
 昨年県内では火災によって、51人の方が亡くなっています。
 火災はあなたの大切な生命、財産をあっという間に奪います。家庭や学校、職場などお互いに声を掛け合い、火災のない明るい地域社会をつくりましょう。
 その油断 火から炎へ 災いへ

問 県消防課
 ☎022(211)2374

無利子の設備資金貸付制度

従業員数20人(商業・サービス業は5人)以下の小規模企業者等の創業や経営基盤の強化に必要な設備(土地および建物を除く)資金の貸し付けを長期無利子で行っています。
 貸付限度額・償還期間は、設備の設置に要する費用の2分の1以内、4,000万円以下で、7年以内(1年据え置き、半年賦償還)です。
 問(財)みやぎ産業振興機構
 ☎022(225)6636

問 県経営金融課
 ☎022(211)2743


家具転倒防止代行について

大地震に備え、家具を自ら固定することが困難な方を対象に固定作業の代行を実施します。
 対象者 = 高齢者(満65歳以上) 障害者のみ世帯等
 対象区域 = 県内(仙台市を除く)
 申込受付期間 = 11月4日(火)～14日(金)(当日消印有効)
 申込み先 = お住まいの対象NPO法人へ申込書を郵送(詳しくは申込案内書参照)
 申込案内書配布場所 = 市町村の福祉等関係課窓口、県の土木事務所建築窓口および保健福祉事務所窓口等
 代行内容 = 家具5個までの固定作業で器具、金具等は自己負担となります(各地域ごとに実施枠があります)
 問 県建築宅地課
 ☎022(211)3245

保育士の登録手続きについて

11月29日から保育士証の交付が始まります。保育士資格を有し、現在保育業務を行っている方は、都道府県知事に登録する必要があり、保育士証が交付されて初めて保育士として名乗り、活動することができます。
 申請 = 下記の機関から「保育士登録の手引き」を入手し、手続きを行ってください
 申し込み = 登録事務処理センター ☎0120(041)943(祝日を除く月～金曜日の午前10時～午後6時)へ
 音声案内およびFAX03(5485)3133
 問 県子ども家庭課
 ☎022(211)2529

ご存じですか?このマーク

 Sマークは理容店、美容店、クリーニング店の安全(safety)衛生(sanitation)確かな技術(standard)の保証マークです。
 このマークのあるお店では、万一のトラブルの際も事故賠償基準により補償を受けられます。
 問 県生活衛生課 ☎022(211)2645
 問(財)県生活衛生営業指導センター ☎022(233)2866

戦没者等の妻の皆さまへ

戦没者等の妻に対する特別給付金を受けている方で、平成15年10月31日に国債の償還が終了した方は継続支給されます。
 戦傷病者であった夫が、平成5年4月1日から平成8年9月30日までの間に死亡し、公務死と認定され、現在、公務扶助料等を受ける権利を有している妻の方には、特別給付金が支給されます。
 お住まいの市区町村窓口で請求手続きをしてください。
 問 県社会福祉課 ☎022(211)2563

「みやぎ健康の日」

11月11日は、いい日、いい身体、いい心の「みやぎ健康の日」です。一人ひとりが自分自身の健康を思いやり、おのおの立場で健康づくりを意識し、実践する日として制定しています。「自分の健康は自分で守り、つくる」という意識をもって、食生活・運動等の日常生活習慣を見直し、身近なところから、健康づくりを実践してみませんか。
 問 県健康対策課
 ☎022(211)2623

ラジオガイド

TBCラジオ **県からのお知らせ**
 金曜日 午後3時59分～4時 1260KHz
 TBCラジオ **ラジオ県民だより**
 土曜日 午前10時25分～10時30分 1260KHz
 Date FM **アラウンドザミヤギ**
 月～金曜日 午前10時35分～10時39分 77.1KHz

試験

宮城県職員採用選考試験

職種・採用予定者数 = ①一般事務(大学卒業程度)...1人程度
 ②一般事務・学校事務(高校卒業程度)...3人程度
 受験資格 = 肢体不自由、聴覚、視覚、内部または音声機能もしくは言語機能障害の1～4級の身体障害者手帳をお持ちの方(年齢制限等あり。点字等による受験も可)
 試験日 = 第1次考査...12月9日(火)、第2次考査...1月中旬
 受付期限 = 11月21日(金)
 問 県人事課
 ☎022(211)2227

県教育庁労務職員採用選考試験

職種・採用予定者数 = ①庁務(県立学校等の環境整備、修繕等の業務)...5人程度
 ②農場業務(県立学校の農耕等に関する業務)...1人程度
 出願資格 = 昭和43年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた方で、心身ともに健康な方
 第1次試験日 = 12月8日(月)
 申込書 = 11月4日(火)から県教職員課、各教育事務所で配布
 申込期間 = 11月4日(火)～11月25日(火)
 問 県教職員課
 ☎022(211)3638

募集

宮城県農業短期大学 公開講座受講者募集

内容 = 講義「宮城県北部の国指定天然記念物を訪ねて」
 ①魚沼のテツギョ生息地について
 ②花山村のアズマシャクナゲ自生北限地帯について
 日時 = 11月15日(出)午前9時45分～正午
 定員 = 30人(抽選)
 受講料 = 無料
 申し込み = はがきまたはEメールで住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入し、県

農業短期大学へ
 申込期限 = 11月11日(火)(必着)
 問 県農業短期大学
 〒982-0215 仙台市太白区旗立2-2-1
 ☎022(245)2211
 Eメール soumu@miyanou.ac.jp

第4回みやぎコールセンターオペレータ養成セミナー受講生募集

コールセンターで働きたいと考えている方を対象に、オペレータとしての一般的な基礎技術を習得するためのセミナーを開講します。(年6回開催予定)
 講習期間 = 12月8日(月)～13日(土)
 募集期間 = 11月6日(木)～18日(火)
 募集人員 = 40人(選考、抽選)
 場所 = 電力ビル本館
 申し込み = セミナー事務局 ☎022(264)5045
 問 県情報産業振興室
 ☎022(211)2479

県営住宅入居者募集

対象 = 県内全域の空き住居
 受付期間 = 11月5日(水)～11日(火)
 申し込み = 専用の申込用紙で郵送(11月11日(火)消印有効)
 案内書 = 11月4日(火)から建築住宅センター、県営住宅所在の各市区町村の担当課、気仙沼地方振興センター、各地方県事務所、各公共職業安定所で配布
 問 宮城県建築住宅センター
 ☎022(224)0014
 24時間テレホンサービス
 ☎022(213)1861
 http://www.mkj.or.jp
 問 県住宅課
 ☎022(211)3253

原子力に関する講演会・見学会参加者募集

日時 = 11月28日(金)
 定員 = 50人(応募多数の場合抽選)
 場所 = 県原子力センター(女川町)他
 参加費 = 無料(昼食持参)
 申し込み = 参加者の住所、氏名、年齢を記入し、はがき(〒980-8570住所不要)またはFAX022(211)2695で県原子

力安全対策室へ(11月17日(月)必着)
 問 県原子力安全対策室
 ☎022(211)2607

「きてみさin婦人会館 みやぎの食パートI」参加者募集

日時 = 11月29日(土)、30日(日)の午前10時～午後3時
 場所 = 宮城県婦人会館
 内容 = 29日: 宮城の伝統食をたずねて(講演、海の幸・山の幸を使った実技体験等) 30日: 親から子に伝える伝統の味(講演・パネルディスカッション・宮城の雑煮体験・食で国際交流等)
 幼児・児童コーナーあり(餅つき、わたあめ作り等)
 参加費 = 無料(実技体験御希望の方は、あらかじめ宮城県婦人会館にお申し込みください)
 体験申し込み受付 = 11月1日(出)午前9時30分から宮城県婦人会館 ☎022(222)7721へ

親子でチャレンジ参加者募集

期日 = 12月6日(土)～7日(日)
 場所 = 宮城県松島野外活動センター
 対象 = 子どもとその家族(30家族)
 内容 = 海苔づくり、カキむき体験、海鮮バーベキュー等
 参加費 = 1人3,000円
 申し込み = 11月6日(木)午前8時40分から宮城県松島野外活動センターで電話予約受け付け(定員になり次第締め切り)
 問 宮城県松島野外活動センター
 ☎0225(88)2337

県身体拘束ゼロ作戦推進協議会委員募集

応募資格 = 18歳以上で、介護サービス利用者またはその家族
 募集人数 = 2人
 内容 = 任期2年。会議に年2回程度出席し、身体拘束廃止を推進するため、助言、意見交換をしていただきます
 募集期限 = 11月28日(金)
 問 県長寿社会政策課
 ☎022(211)2536

みやぎの人口	県推計人口	男	女	住民基本台帳に基づく世帯数	外国人登録人口
平成15年9月1現在	2,371,359人	1,157,312人	1,214,047人	857,947世帯	16,386人

県推計人口 / 国勢調査人口を基礎とした総人口 世帯数は、住民基本台帳に基づく平成15年8月末現在の世帯数